

## 洋上風力発電に係る基地港湾整備事業における公共事業評価に関する 検討会議及び市民意見を踏まえた市の対応方針について（報告）

洋上風力発電に係る基地港湾整備事業は、昨年の11月から公共事業評価（事前評価2）を実施し、本年1月30日に実施した「公共事業評価に関する検討会議（外部委員会）」において、計画どおり進めていくことについて「異論はない」との意見をいただいた。

これを受けて、事業概要及び市の対応方針（案）に対する市民意見の募集を行い、この度、市の対応方針を公表するもの。

### 1 事業概要

- (1) 事業名：洋上風力発電に係る基地港湾整備事業
- (2) 事業期間：2018年度～2021年度
- (3) 事業費：約27億円
- (4) 整備箇所：若松区響町二丁目



### 2 市民意見の募集結果

- (1) 意見募集期間：平成31年2月28日（木）から3月29日（金）まで（30日間）
- (2) 意見提出者数：3人（電子メール3人）
- (3) 市民意見及び本市の考え方（概要）・・・別紙

### 3 市の対応方針

計画どおり実施

## ◆市民意見及び本市の考え方（概要）

No	意見の概要	本市の考え方
(1) 事業の整備費に関すること（意見数1件）		
1	洋上 WF が計画されている自治体（例えば下関市）から整備費を負担してもらうことは出来ないのか。	基地港湾を使用する民間事業者等から基地港湾の使用に係る使用料等を徴収することを想定しています。
(2) 事業の実施時期に関すること（意見数1件）		
2	緊急性の高い評価となっているが、響灘洋上 WF のアセスメントの進捗をしっかりと把握し、今時点の評価にとらわれず、見直した方がより良い事業となると考える。	国内他地域の進捗状況を適宜把握し、適切な時期に基地港湾としての役割を確保できるよう、取組みを進めてまいります。
(3) 事業の効果に関すること（意見数2件）		
3	オールジャパンでモノ作りを行わない本事業は、「産業の裾野が広く、雇用創出効果が高い」とはいえない。	基地港湾を核として、背後地に風車メーカーなど風力発電関連産業を集積させ、新規雇用の発生や物流の活性化などを図り、市内経済に広く貢献することを目指して取組みを進めていきます。
4	風力発電メーカーなどの誘致を実現させない限り、新規雇用の発生など市内経済に広く貢献」できないと思う。市民に対して解り易く説明する義務が有ると感じた。	市民等の周知に関しては、各種イベントによる PR などを通じて、市民等の理解を深めるよう努めてまいります。
(4) 事業予定地の妥当性について（意見数1件）		
5	既存の埠頭用地の用途変更をすれば、建設する必然性はないようにも捉えられる。この事業の必然性について、客観性と透明性が高いことを示すべきと思われる。	風車部材を取り扱う港湾施設には重量物を取り扱うことができる地耐力や広大な保管ヤードを確保する必要がありますが、本市においてこれら条件を満たす既存施設は存在していません。
(5) 環境への配慮に関すること（意見数3件）		
6 7 8	ここは絶滅危惧 IB 類に指定されているチュウヒの繁殖地となっており、重要な動物の生息・生育場所の保全について、配慮が必要ではないか。	必要に応じて学識経験者等専門家の意見を聴取し、また、関係部局との連携を図りながら基地港湾の整備に努めてまいります。